

令和3年度実施  
相互提案協働事業報告書 一式

■ 梶原大通り街路樹柵再生事業

団体名：梶原山町内会

■ SDGs みらい塾第三期

団体名： 特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会

■ 「鎌倉観光ガイド」コンテンツ充実事業

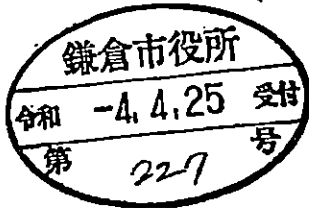
団体名：特定非営利活動法人鎌倉シチズンネット

第6号様式 (第11条)

相互提案協働事業 報告書

令和4年 3月31日

鎌倉市長 松尾 崇 様



住所 鎌倉市 [REDACTED]  
 郵便番号 [REDACTED]  
 団体名 梶原山町内会  
 代表者氏名 加藤 洋

令和 3年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	梶原大通り街路樹柵再生事業								
事業概要	梶原大通りの街路樹柵にツツジを補植することにより雑草の繁茂を防ぎ、市の雑草刈りの手間を省き、団地内市有地の景観を保持する。								
市担当課	みどり公園課								
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	開始 令和 3年 9月27日 ~終了 令和 4年 3月25日								
協働の形態	<table border="0"> <tr> <td>市民団体提案 協働事業者の役割分担</td> <td>市の役割分担</td> </tr> <tr> <td>① 街路樹柵に植える樹木の手配</td> <td>①樹木の植え付けに係る技術的な相談</td> </tr> <tr> <td>② 街路樹柵への樹木の植え付け</td> <td>②街路樹柵の除草時期の調整</td> </tr> <tr> <td>③ 街路樹柵に植え付けた樹木の管理</td> <td></td> </tr> </table>	市民団体提案 協働事業者の役割分担	市の役割分担	① 街路樹柵に植える樹木の手配	①樹木の植え付けに係る技術的な相談	② 街路樹柵への樹木の植え付け	②街路樹柵の除草時期の調整	③ 街路樹柵に植え付けた樹木の管理	
市民団体提案 協働事業者の役割分担	市の役割分担								
① 街路樹柵に植える樹木の手配	①樹木の植え付けに係る技術的な相談								
② 街路樹柵への樹木の植え付け	②街路樹柵の除草時期の調整								
③ 街路樹柵に植え付けた樹木の管理									
事業費	306,105円								

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p>&lt;達成できた点&gt; 梶原大通りの1/3の街路樹樹にキリシマツツジ・サツキツツジを補植できた。町内ボランティアで作業が賄えるか心配だったが、ツツジ納入業者及び「花と緑のまち梶原山を創造する会」メンバーの頑張りによって321本を予定の半分の時間で終了することができた。</p>
	<p>&lt;達成できなかった点&gt; 特になし</p>
<p>成果・効果</p>	<p>梶原大通りに花のある街並みを再生できた。 今後は街路樹樹のツツジを低く仕立てる手入れにより、雑草の繁茂も防げる。令和4年5月～6月の時期に、補植した全てのツツジが開花の予定。</p>
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<p>植え付け後11月下旬頃から12月13日にかけてツツジの枝がおられる事件が発生した。 今後はツツジが折られることのないように関係部署と連携を取りながら見守り活動を続けていく。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>梶原大通り全長の1/3にツツジの補植が出来た。残りの2/3については、他の事業を活用してツツジの補植を進め、花のある街並みの再生を続けていきたい。</p>

添付資料

① ツツジ補植前、植え付け時及び完了時の写真

施工前



施行中



施工後



収支決算書

単位：円

科 目	金 額	備 考
I 収入の部		
1 市からの収入	300,000	
2 事業者負担収入	6,105	...
収入合計 (A)	306,105	
II 支出の部		
1 事業費		
ツツシ苗木代	299,750	@750円×350本+10,000円+消費税
土壌改良剤 (1kg)	6,355	
		※項目ごとに明確に記載してください。
		支出した際の経費の詳細は保管してください。 場合によって、提出していただくことがあります。
支出合計 (B)	306,105	
収支差額 (A) - (B)	0	

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート (令和3年度)

事業名 : 梶原山大通り街路樹樹再生事業

市民活動団体名 : 梶原山町内会

担当課 : みどり公園課

(1) 事業着手前

評価項目	団体	担当課	理由 (団体と担当課それぞれ記入してください)
協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【団体】 特段の問題はなかった。
協定書作成時に対等な立場で話し合いができたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【担当課】
協定書の内容は充分であったか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	団体はとても熱心に取り組んでおり、市の負担は少なかった。
総括 (評価のまとめ)	協働事業の大部分を団体が実施する計画であったため、市の負担は少なかった。 団体が準備を丁寧に行い、無理のないスケジュール立案をしたため、問題ない協定書を締結できた。		

(2) 事業実施過程

評価項目	団体	担当課	理由 (団体と担当課それぞれ記入してください)
当初の事業計画どおり行われたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【団体】 植え付け当初にツツジの枝が折られる事案が発生したが、関係団体と相談しながらその後の被害を防ぐことが出来た。
対等な対場で進められたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【担当課】 ツツジの枝に被害があったときも、団体は見守り活動を行い、再発防止に努めていた。
互いの特性や資源を活かしあって進められたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
課題認識、目的、過程を共有して進められたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
課題が出た時、話し合いの場を持ち解決できたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
総括 (評価のまとめ)	コロナ禍であっても団体は熱心に作業参加者を集め、段取り良く補植作業を実施した。 ツツジの枝が折られた時も、団体は再発防止に努めていた。		

(3) 事業実施結果

評価項目	団体	担当課	理由 (団体と担当課それぞれ記入してください)
設定された目標(評価項目)は達成されたか	○	○	<p>【団体】</p> <p>設定した目標は十分達成され、ツツジのある街並みを再生できた。</p> <p>次年度以降の展望について、市から有益な情報を得られた。</p> <p>【担当課】</p> <p>梶原大通りの再生を町内会が主体的に行うことで、町内の方の街路樹に対する愛着を高められた。</p>
予算の執行は予定通りであったか	○	○	
定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
定められた役割分担は守れたか	○	○	
市民サービスは向上したか	○	○	
市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	
総括 (評価のまとめ)	団体は予算を効果的に活用し、効率良く事務作業を進めたため、市としても最大の成果が得られた。		

(4) 今後の事業展望

事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点を含めた総括 (評価全体のまとめ)	<p>通常の街路樹愛護会の活動よりも、一步進んだ活動を行うことができた。他の愛護会にとっても、今回の事業は良いモデルケースになった。</p> <p>活動資金を捻出してくれる基金等について、市から町内会に情報提供することができたため、梶原大通りの残り2/3についても同様の活動が期待できる。</p>
---------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※理由及び総括欄は、別紙で提出しても結構です。

※総括は、市民活動団体と担当課で協議した上で記入してください。

★評価の基準

- ：十分に達成
- △：一部課題があるが概ね達成
- ×：不達成

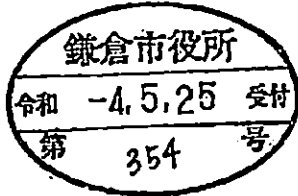


第6号様式 (第11条)

相互提案協働事業 報告書

2022年5月25日

(宛先) 鎌倉市長



住所 鎌倉市 [REDACTED]  
郵便番号 [REDACTED]  
団体名 特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会  
代表者氏名 理事長小川研一

2021.年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	SDGs みらい塾第3期
事業概要	<p>(市提案協働事業の場合は記入不要です。)</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1.SDGs 目標達成に貢献する市民の育成</li><li>2.SDGsを中心とした市内NPOネットワークの拡充</li></ul> <p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・育成する市民の区分と人数 (全48名) 中学生、高校生25名、大学生5名、一般人18名</li><li>・参画するNPO3団体</li></ul> <p>形態</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1. 通期ラーニング 月に一回 48名によるアクティブラーニングなどでSDGsを学ぶ (90分1コマ×2コマ) 各回のテーマは、SDGs目標に沿って2テーマずつ行う。 (17のゴールに総論を加え、18テーマ。この18テーマを1回2テーマずつで全9回)</li><li>2. オープンフォーラム 市、及び市民へのフィードバック (情報公開) のために、期間中に1回のオープンフォーラムを開く (100名規模)</li></ul>
市担当課	共生共創部企画課

事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	開始 2021年7月4日 ~ 終了 2022年2月27日
協働の形態	「SDGs みらい塾第三期事業に関する協定書」記載の通り
事業費	300,000円
事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)	<達成できた点> 1. SDGs 目標達成に貢献する市民の育成 鎌倉市民(在学を含む)12名にSDGsを伝えることができた  2. SDGsを中心とした市内NPOネットワークの拡充 子ども食堂運営団体、障害者就労支援団体、社会福祉法人などとネットワークを強化できた
	<達成できなかった点> 受講者数:当初の目標48名に至らず38名でスタートした
成果・効果	多くの学びを与えることができた。 また多くのネットワーク(受講生間のネットワークも含む)を育成できた。
課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)	(1) オンライン開催なので、グループディスカッションに多少の不便さ(もりあがらない)を感じた。 主催者としては、ファシリテーションのスキルを学ぶ必要がある。あるいは徹底したレクチャーで行うことの検討が必要。 (2) ドロップアウトが見られたので、その防止(モチベーションの維持)に努力が必要
今後の展望	第4期の実施を2022年7月から計画しており、オンラインの良さを生かし、鎌倉だけでなく、山梨、長野、静岡、千葉などの近隣に拡大していく。

添付資料

カリキュラムを含む受講生募集時のチラシPDF

第3期



鎌倉市・鎌倉ユネスコ協会 協働事業

# SDGsみらい塾

期間

2021年

2022年

7月4日



~2月27日



全14回 (カリキュラムは裏に記載)

全回Zoomでの開催 13:00~14:30(90分)

レクチャー+ディスカッション

- ・参加費：無料
- ・定員：30名(高校生・大学生:20名、一般:10名)  
申し込み期限6月20日(定員に達し次第締め切り)
- ・通期でお申し込みください。
- ・12回以上の受講に対して修了証を発行。

※発行手数料別途：1,000円

主催



共同企画



FERRIS  
UNIVERSITY

特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会

フェリス女学院大学 ボランティアセンター

参加お申し込み



お問い合わせ

info@kamakura-unesco.or.jp

## 第3期 SDGsみらい塾 カリキュラム

※Covid-19等の影響により、登壇者、演題を変更する場合があります。ご了承ください。

回	日付	SDGs目標	タイトル	講師
1	2021年 7月4日(日)	SDGs総論	(1)SDGsの意義 世界の貧困問題 地球環境問題 Transforming Our World	横浜国立大学名誉教授 小池 治
2	7月25日(日)		(2)世界の取り組み 日本の取り組み 新型コロナウイルスのパンデミックと SDGs Think Globally, Act Locally	
3	8月1日(日)	1.貧困 2.飢餓	コロナ禍フードバンク事業を立ち 上げ見えたこと～鎌倉で出来るSDGs～	一般社団法人 ふらっとカフェ鎌倉 渡辺 公子
4	8月22日(日)	3.健康と福祉	地域包括支援センターについて 障害者就労支援について	地域包括さしる(在支課長) 織田 絵美子 就労サポートネクスト所長 八木 苑子
5	9月5日(日)	4.質の高い教育	日本の教育、世界の教育	フェリス女学院大学ボランティア センターコーディネーター 堀尾 藍
6	9月26日(日)	5.ジェンダー平等	女性差別	フェリス女学院大学 国際交流学部(3年生) 早川 礼美
7	10月3日(日)	6.安全な水とトイレ	災害時トイレ問題	長崎大学熱帯医学研究所 宮道 一千代
8	10月30日 (土)	16.平和 17.パートナーシップ	中東とのオンライン交流	在サウジアラビア日本国大使 元在イラク日本国大使 岩井 文男
9	11月28日 (日)	8.働きがい 9.技術革新	アフリカにおけるIT起業	Uncovered Fund 寺久保 拓摩
10	12月5日(日)	10.人や国の不平等	国と平等	元UNHCR駐日代表 東洋英和女子大学名誉教授 滝澤 三郎
11	12月26日 (日)	13.気候変動	気候危機、パリ協定	一般社団法人 日本気象環境機関 井手道 義和
12	2022年 1月23日(日)	7.エネルギー	再生可能エネルギー	鎌倉市
13	1月30日(日)	11.まちづくり	まちづくり	鎌倉市
14	2月27日(日)	12.責任ある生産と消費 14.海の豊かさ 15.陸の豊かさ	地球へのインパクト	一般社団法人 日本リジェネレーション推進機構 小島 政行

決算書

団体名 特定非営利活動法人鎌倉ユニネスコ協会

収支決算

科 目	金 額	備 考
I 収入の部		
市からの協働事業負担金	300,000	
一般会計	143,240	
収入合計 (A)	443,240	
II 支出の部		
1.講師謝礼	90,000	15,000×6人分
2.AV 機器借用	20,000	Zoom ライセンス他
3.Web/SNS 運用	270,000	講義動画の収録 (15,000円 14回分)
4.印刷代	13,620	模造紙、付箋、マーカーペン他
5.会場費	49,620	チラシなど 2,000円/回 ページの更新等 チラシ等 オープンフォーラム商工会議所ホール 予定
支出合計 (B)	443,240	
収支差額 (A) - (B)	0	

\*支出実績

第1四半期 (4月～6月)	72,000
第2四半期 (7月～9月)	112,000
第3四半期 (10月～12月)	112,000
第4四半期 (1月～3月)	147,240
合 計 ((B)と同額)	443,240円

2022年6月3日

## 市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート ( 2021年度)

事業名 : SDGsみらい塾第三期

市民活動団体名 : 特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会 担当課 : 共生共創部企画課

## (1) 事業着手前

評価項目	団体	担当課	理由(団体と担当課それぞれ記入してください)
協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【団体】 協定書作成に当たり十分に議論することができた。
協定書作成時に対等な立場で話し合いができたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【担当課】
協定書の内容は充分であったか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	協定書作成に当たり十分に議論することができた。
総括(評価のまとめ)	協定書を作成するに当たり、事業の目的及び双方の役割について十分に確認を行うことができた。		

## (2) 事業実施過程

評価項目	団体	担当課	理由(団体と担当課それぞれ記入してください)
当初の事業計画どおり行われたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【団体】 コロナによる実施年度の一年遅れ
対等な対場で進められたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【担当課】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業実施が令和2年度から令和3年度での1年遅れでの実施となった。 また、オンラインでの開催となったため。
互いの特性や資源を活かしあって進められたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
課題認識、目的、過程を共有して進められたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
課題が出た時、話し合いの場を持ち解決できたか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
総括(評価のまとめ)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業実施が1年遅れたが、事業の実施に当たっては、双方で十分に議論を行い進めることができた。		

(3) 事業実施結果

評価項目	団体	担当課	理由 (団体と担当課それぞれ記入してください)
設定された目標(評価項目)は達成されたか	△	△	<p>【団体】 受講生目標48名に対し38名であった</p> <p>オンライン化に伴い、交通費に代えての講師料を辞退される方が多く、支出が縮小された</p> <p>【担当課】 オンライン開催に伴い、支出額が当初計画とは異なった。役割分担については、明確に行い定められた役割を双方で行うことができた。</p>
予算の執行は予定通りであったか	△	△	
定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
定められた役割分担は守られたか	○	○	
市民サービスは向上したか	○	○	
市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	
総括 (評価のまとめ)	オンライン開催に伴い、当初計画からは支出額が異なった。役割分担については、事前に十分に協議を行い決定しており、双方の役割を果たすことができた。		

(4) 今後の事業展望

事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点を含めた総括 (評価全体のまとめ)	当初計画とは異なり、基本的にオンラインでの開催となってしまったため、グループディスカッション等を活発に行うことができなかったが、参加者がSDGsについての知識を深め学ぶことができた。
---------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

※理由及び総括欄は、別紙で提出しても結構です。

※総括は、市民活動団体と担当課で協議した上で記入してください。

★評価の基準

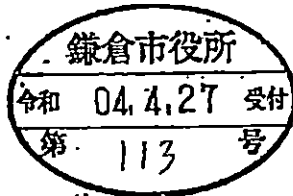
- ：十分に達成
- △：一部課題があるが概ね達成
- ×：不達成

第6号様式 (第11条)

相互提案協働事業 報告書

令和4年 4月 27日

(あて先) 鎌倉市長 様



住所 鎌倉市 [REDACTED]  
 郵便番号 [REDACTED]  
 団体名 特定非営利活動法人 鎌倉シチズンネットワーク  
 代表者氏名 理事長 鍋島 [REDACTED]

平成4年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	「鎌倉観光公式ガイド」コンテンツ充実事業
事業概要	(1) 「鎌倉観光公式ガイド (以下公式ガイド)」に掲載している観光情報について、修正が必要な箇所の調査 (2) 調査結果表の作成 (3) 「鎌倉なびマップ」へのリンク付けが必要な箇所の確認及び決定 (4) 実装作業及び実装後の確認作業
市担当課	市民防災部観光課
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	開始 令和3年10月 1日 ~ 継続 終了 令和4年 3月31日
協働の形態	事業概要(1)と(2)は鎌倉シチズンネットが実施する。(3)は両者で協議する。(4)の実装作業はそれぞれの分担範囲で実施。確認作業は両者で行う。
事業費	¥165,000 円



<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p>&lt;達成できた点&gt;  (1) 公式ガイドの調査  (2) 調査結果表の作成  (3) 「鎌倉なびマップ」のリンク付け必要事項の確認と決定  (4) 実装作業及び確認作業</p>
<p>成果・効果</p>	<p>&lt;達成できなかった点&gt;  (1) 「公式ガイド」から「鎌倉なびマップ」のページへのリンクを計画していたが実現できなかった。代案として導入ページを経由することになった。</p> <p>(1) 「公式ガイド」の改良ができた。  (2) 「公式ガイド」に情報追加ができた。  (3) 評価対象 (80) の処理内訳：鎌倉なびマップで検討 (30)、観光課で処理 (16)、公式ガイドで非表示ページとなり対象外 (7)、公式ページ又は日本遺産のため対象外 (13)、処理不要と判定 (14)。</p>
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症蔓延のため令和1年度提案・採択、令和2年度実施予定ができず、令和3年度下期実施となった。その間、「公式ガイド」の項目変更が進み協働事業提案の詳細内容を見直す必要が生じた。また、実施時期が延期になったため、その間に観光課の担当職員が3回交代し、了解事項の再確認を余儀なくされた。また、寺社データについて寺社の了解を得られない場合があり、その対策として導入ページを経由する方法で対処することになったが、当初の構想とはかなり違う姿となった。協働事業計画書に技術仕様書を添付するなど詳細を明確にするべきだったと反省している。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>協働事業は年度内に終了したが、「公式ガイド」の充実に貢献したいという思いはあるので提案作業は続けたいと思っている。</p> <p>一方「鎌倉なびマップ」は約20年間の歴史があり、古いデータについて更新の必要があり今後取り組んでゆきたい。</p>

添付資料

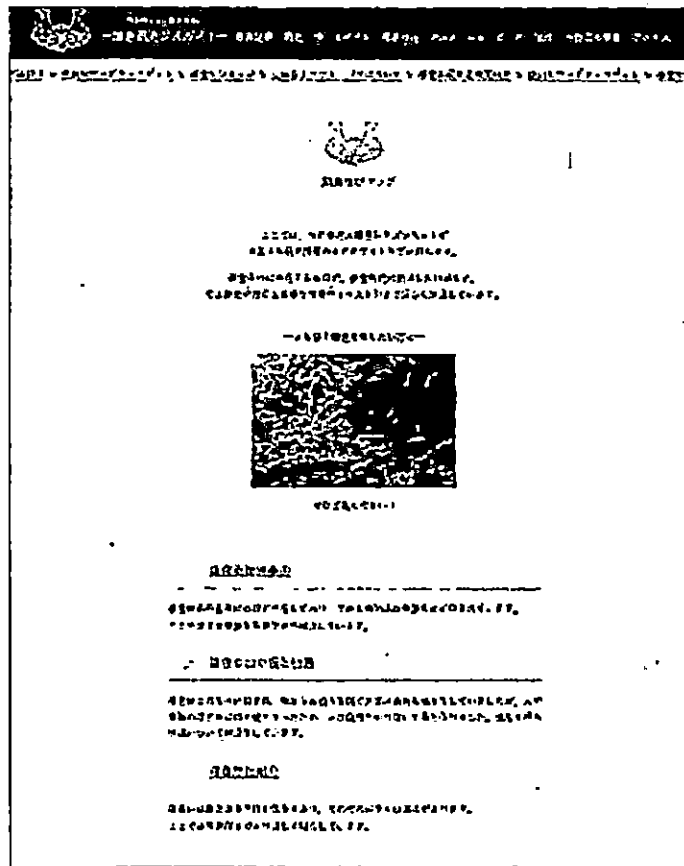
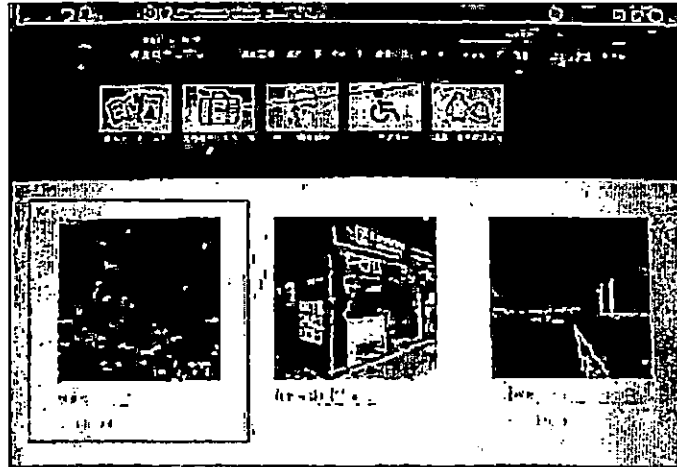
「鎌倉観光公式ガイド」コンテンツ充実事業全体図

# 「鎌倉観光公式ガイド」コンテンツ充実事業 全体図

「鎌倉観光公式ガイド」

<https://www.trip-kamakura.com/life/13/11/65/>

- ↓
- お役立ち情報
- ↓
- 便利なサービススポット
- ↓
- 鎌倉なびマップ
- ↓
- 導入ページ (右下の画像)
- ↓
- 鎌倉なびマップの該当欄への  
リンク
- > 鎌倉史跡碑事典
- > 鎌倉七口の坂と切通
- > 鎌倉寺社紹介  
(次ページ)



鎌倉ナビマップ

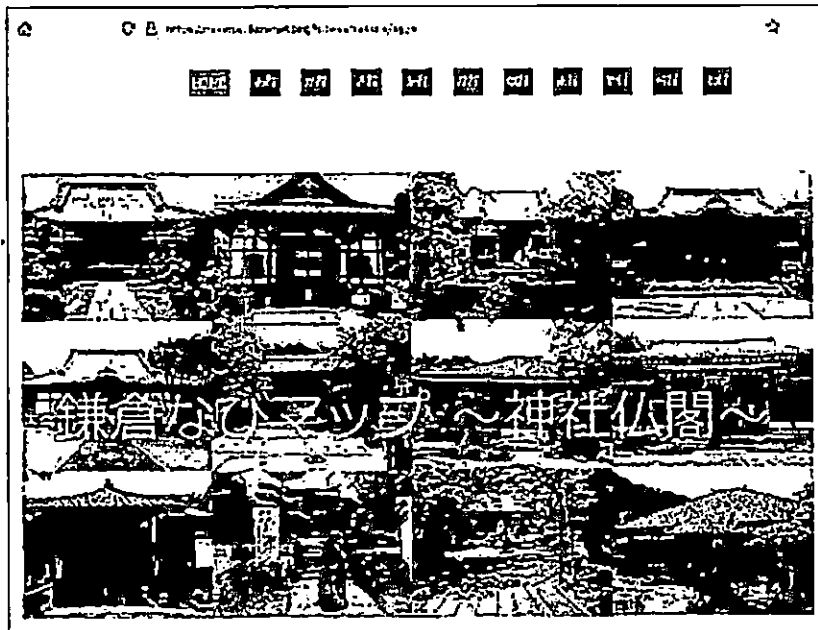
> 鎌倉史跡碑事典 (例: トップページ)



> 鎌倉七口の坂と切通 (例: トップページ)



>鎌倉寺社紹介>「鎌倉なびマップ～神社仏閣～」(例：トップページ)



(例) メニューから甘縄神明神社を選択



団体名 特定非営利活動法人 鎌倉シチズンネット

収支決算書

単位：円

科 目	予算金額	決算金額	比較増減	備 考
I 収入の部	¥165,000	¥165,000	0	
収入合計 (A)	¥165,000	¥165,000	0	
II 支出の部				
1) 調査費	¥45,000	¥45,000	0	
2) リンク一覧表作成費	¥75,000	¥90,000	▲15,000	導入ページ対応
3) 確認作業費	¥45,000	¥30,000	15,000	
支出合計 (B)	¥165,000	¥165,000	0	
収支差額 (A) - (B)	0	0	0	